

3月定例会は、6日から16日までの会期で開催されました。提案された議案は、19年度予算などでいずれも原案のとおり決まりました。



予算特別委員会

総額85億円 19年度予算は どうなる？

税源移譲の影響は

問 国の税源移譲は、歳入にどのように影響しますか。
答 所得譲与税から個人住民税に税源が移譲されます。前年度対比で約2千万円ほど減額になります。その分は交付税に算入される見込みです。

自治会交付金の行方は

問 行政連絡員、納税組合、衛生組合などそれぞれに交付してきた



協働のまちづくり(自治会活動)

葛葉荘の指定管理料は

問 葛葉荘の指定管理料が増額になった理由を伺います。
答 18年度には5名の町職員を派遣していましたが、19年度は派遣せず、施設の管理運営は全て誠心会が行います。その人件費が増額になったものです。

スクールの購入は

問 スクールバス購入費の内容を伺います。
答 20年度馬淵小学校と五日市小学校の統合に向け、29人乗りのバスを購入します。馬淵小学校区の児童と中学生、また三菓子地区の児童も対象にしています。

町有林の活用は

問 町有林について、1ha当たり100万円程で売却できるとも言われています。自主財源確保のため、売り払いを検討するべきではないですか。
答 売り払いにより跡地の再造林の経費が必要となり、利益になるか判断が難しい状況です。将来的には町の財源にすることを目的としているので、当面は適切な管理に努めます。



葛葉荘 交流大運動会(縄ない競走)

田子・星野線の改良は

問 町道田子・星野線の事業費が予算化されていない理由を伺います。
答 災害復旧工事を優先し、他路線の改良工事との均衡を図るため、19年度の工事は見送りました。20年度に完成させる予定です。



工事再開が待たれる町道田子・星野線

葛高通学の助成は

問 葛高生への通学助成の内容を伺います。

国保会計の運営は

問 国保税の収入が対前年比で2千200万円の減となり、基金も少額です。19年度の運営方針を伺います。
答 国保税は、加入者の減少や所得減により減額となりました。基金も当初で80万円と非常に厳しい状況なので、国保税滞納分の徴収に努めます。

病院の経営改善は

問 19年度の病院の経営改善について、院内ではどのように検討していますか。
答 患者に対して配慮に欠けた面があると指摘を受けました。院内で患者サービス向上を十分に話し合います。患者、住民の声を聞きながら、経営改善につなげるよう努めます。

鈴木 満 議員

私は、平成19年度葛巻町一般会計並びに各特別会計予算に対し、賛意を表します。

町長就任以来、国・県の行財政改革、市町村合併推進の中で、中央と地方、都市と農山村の地域間格差は急速に拡大しています。特に三位一体改革の中で、地方財源は減少の二途をたどり、町の財政の厳しい状況は今後も続くと考えられます。

このような中、町長は自立を目指しながら、先頭に立つて行財政改革に取り組まれました。19年度の予算編成を見ると、職員数の削減、地方債残高の削減、各種審議会等の定数や報酬の見直し、自治会組織の強化など、引き続き行財政改革を進める強い意志が現れています。

特に、昨年の大災害を教訓に、防災情報設備と併せて地上デジタル放送受信設備、光ファイバー網の整備など情報通信基盤整備の計画策定に取り組んでいることは、住民の要望に的確に対応したものと高く評価します。さらに、特定不妊治療費助成事業、くずまきふるさと大使

賛成 討論

の設置、総合運動公園の改修など、緊縮財政の中でも住民ニーズに対応した新規事業に取り組むとしています。また、20年度の馬淵小学校の統合に向けたスクールの購入費の他、町内小中学校の配置の見直し、病院の療養病床の老健施設への転換、総合的バス交通対策、地域水道ビジョンの策定など、町民生活に直接関係する部門に配慮された予算となっています。

さらに、18年度に創設した「葛巻町ふるさとづくり基金」を活用した農林業や新エネルギー施策の振興、エコパーク平庭高原の体験交流施設のオープンを目指した商工観光振興についても準備を進めるなど、各般にわたり、バランス良く予算が配分されており、各施策によって、協働のまちづくりが一步一歩前進することを期待します。

一方、近年町税等の滞納については大きな危惧を抱いています。住民の皆様の理解をいただきながら、早期解消に一層の努力をお願いします。今定例会における議員各位の指摘事項等に十分配慮され、町政運営を推進されるよう期待申し上げ、賛成討論といたします。